

平成 30 年度第 1 回中空知定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

開催日時：平成 30 年 10 月 3 日（水）14：00～16：00

開催場所：赤平市交流センターみらい 4階 かたらいホール

出席委員：小磯委員、加藤委員、三戸部委員、茅野委員、黒坂委員、上坂委員、中村委員、
金山委員、梶野委員、笹木委員、居林委員、那須委員、大下委員、太田委員、
荒岡委員、渡辺委員、鎌塚委員、峯村委員、高村委員

1. 開 会

- ・委員 27 名中 19 名が出席し、過半数に達しているので、設置要綱第 6 条第 2 項の規定により会議が成立している旨を報告。

2. 委員紹介

- ・事務局より新規委員紹介

3. 挨拶

- ・主催者として滝川市長より挨拶
- ・開催市として赤平市長より挨拶

4. 議題

（1）第 1 期中空知定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について

事務局より、資料 3～4 に基づき、数値目標や KPI に対する H29 達成状況を報告

質問

以前のビジョン懇談会の意見交換会の中で、「人材不足に伴う就業対策の広域連携」と「災害対応における広域連携」について話し合った経過がある。人材不足の方は昨年度合同企業説明会を行ったことの説明があったが、災害対応については今後どのように進めようとしているのかを紹介いただきたい。

答弁

近年は災害の発生頻度も高く、河川の氾濫回数も増加の傾向にある。以前の意見交換の中で滝川市がモデルとなって行っている水害タイムラインについて話し合われた経過があるが、タイムラインを動かすためには多くの関係機関と連携して行動する必要があり、大がかりなものになることから、今後タイムラインが全道に広がっていくことを意識し、システムを簡略化して取り組みやすくなるように国と協議を進めている。

(2) 第2期中空知定住自立圏共生ビジョンの策定(案)について

事務局より 資料5～8に基づき、第2期共生ビジョン策定案を説明

意見

- ①先月の胆振東部地震での教訓を踏まえてだが、中空知地域は過去の経験上、洪水が主な災害であり、災害マップも洪水に対応するものとなっているが、洪水だけではなく地震などほかの災害も取り入れていければより良いものになるだろう。
- ②有害鳥獣対策について、進捗状況の説明であったように捕獲頭数はかなり増えているが、それでも生息頭数は増え続けている。広域で連携して対策をとっていければと思う。

答弁

- ①先日の地震では、過去に経験したことの無い大規模な停電(ブラックアウト)になった。現在、この時の対応を様々な角度から検証を進めているところである。ご意見をいただいた災害マップを広域的な対応を検討できないかを含めて専門部会に伝えていきたい。
- ②有害鳥獣対策は、深刻な問題であり担当課長会議の中でも話し合われてきたところであり、また、浦臼町の施設の情報も入っているが課題も多いと聞いている。今回のビジョンに取り入れてすぐにどうするということにはならないと思うが、専門部会に伝えていきたい。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局より、本日の結果を以降の会議で報告し第2期計画を策定する旨説明。

5. その他

- ・委員謝礼について連絡

6. 閉会

ビジョン懇談会終了後、赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設を視察